



<捨印>

申 立 書

市長 殿

平成 年 月 日

所有者 住所

氏名

印

共有者 住所

氏名

印

この度、私が建築し、又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋の表示

所在地

家屋番号

2 入居予定年月日 平成 年 月 日

3 現在の家屋の処分方法等 (該当する番号に○をして下さい。)

- [1] 売却する。 【売買契約(予約)書、売買媒介契約書の写】
- [2] 賃貸する。 【賃貸借契約(予約)書、賃貸借媒介契約書等の写し】
- [3] アパート、借家、借間、社宅、寄宿舍、公舎、寮等である。
【現在の賃貸借契約書、使用許可書、入居証明書、家主の証明書等の写し】
- [4] 親族等が居住する。 【親族等の申立書】
- [5] その他

4 入居が登記の後になる理由

- [1] 資金調達上抵当権設定を急ぐ為。
- [2] 契約上、建物引渡後の入居が条件となっている為
- [3] その他 ()

5 添付書類

上記3の【 】内に係る書類並びに現在の住民票

なお、証明書交付後、その申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。